



谷原小だより 2月号

平成 26 年 2 月 3 日
練馬区立谷原小学校
校長 眞瀬 敦子

先輩に学ぶ

校長 眞瀬 敦子

「つまみ細工」というのをご存知ですか？

日本髪を飾る、美しい花の簪（かんざし）、と言ったら、「ああ、」と思われる方もあるかもしれませんね。七五三の時に髪飾りとして挿したという女の子もいるかもしれません。

つまみ細工は、小さく四角に切った色とりどりの絹を、ピンセットで折り紙のように三角に畳んで裏返し、それを花びらに見立てて作っていくという、繊細で優雅な細工物です。江戸時代の中頃から、宮中の女官や大名の奥女中の間で楽しまれ出したのが始まりという、日本独自の伝統文化でもあります。

では、そのつまみ細工を美しい絵にまで高めた「つまみ画」の小さな美術館が、谷原小の学区にあるのをご存知でしょうか？

実は私もつい最近、2年生の生活科見学でふるさと文化館に行った時に見た、きれいなチラシで知ったのです。土曜日だけ開いているというので、早速行ってきてお話も伺い、「これだ！」と思いました。

何が「これだ！」かということ、私は今年度からキャリア教育の一環として「先輩に学ぶ」というタイトルで、朝の集会時（8：20～8：35 という短い時間ですが）、卒業生や地域の方からお仕事や進路、生き方についてのお話を伺うという企画を始めたからです。

今年度は3回行う予定で、第1回目を卒業生でもあるPTA会長の重田さんにお話し、会社勤めから家業を継いで布団屋さんになったことや、布団作りにかかる思いを、熱く且つ分かり易く語っていただきました。（是非、学校のホームページの「日記」、9月4日をご覧ください！）この佐田園子さんによる「つまみ画」のお話は、2月19日に決まりました。

3回目は、やはり卒業生で今大学1年生の柿原孝則さんに、「大鼓」にかかる思いを語っていただきます。大鼓というのも私達にはあまり馴染みがないものですが、雛飾の五人囃子の中にいると言えれば分かるでしょうか。柿原さんは、伝統芸能である大鼓の家に生まれ育ち、それを継承するために励んでいる現代の若者です。2月26日の集会で、どんな話が伺えるか、今から楽しみです。

谷原小では今年になってから1、2年生が昔遊びの交流をしたり、3年生が七輪を使い、4年生が東京手描き友禅の体験学習をしたりするなど、日本の伝統文化に触れる機会が多くあります。そしてこの「先輩に学ぶ」も、特に意図した訳ではないのですが、日本の伝統を受け継ぐ方のお話が三つ揃いました。「温故知新」と言いますが、先輩方のお話から子供たちが、日本に生きる自信と誇りを感じ取ってくれたらいいなあと思っています。

佐田つまみ画美術館；高野台 5-31-9 開館は土曜日の10：00～16：00 住居をここに移したばかりなのでまだ片付いていませんが、「谷原小です」と言えば、見せてくださるとのことでした。

連合図工作品展

図画工作科 吾妻 彰

1月18日から23日まで練馬区立美術館にて開催されました。今回は朝晩はかなり冷え込んだものの、連日晴天に恵まれ、のべ9500人を超えるたくさんの来場がありました。谷原小からは3年生以上の25人の力作を出品しました。今年度は11月末に展覧会があったので、候補の作品をたくさんお預かりしていましたが、展示スペースの関係で全員出品できず、残念でした。

会場では、練馬区内の各小学校ごとにいろいろな作品が展示され、会場は来場者も含めとてもにぎやかでした。学校ごとにそれぞれ違った特色や取り組みの工夫があり、とても参考になりました。今回は見に行かれない方も、毎年開催されていますのでぜひ一度見に行ってみてください。おもしろそうな作品は、谷原小でも今度作ってみますので、楽しみにしててください。

連合書き初め展

書写部 須佐 陽子

1月25日から26日まで、前週の図工展に引き続き、練馬区立美術館で連合書き初め展が開催されました。区内の各小学校・中学校に在学する小学1年生から中学3年生までの、多くの作品が展示されました。

谷原小からは1年生と2年生が硬筆、3年生以上が毛筆の作品を出品しました。二日間とも、多くの方々ご来場くださり、会場は大いに賑わいました。皆様はご覧になったでしょうか。残念ながら行けなかった方は、現在2Fのらっこホールに谷原小から出品した作品を展示していますので、学校公開日にご覧ください。

各学年とも、書写が冬休みの宿題として出されていたことと思います。ご家庭でのご協力もあり、席書会、校内書き初め展、連合書き初め展と意欲的に書くことができました。ご協力を感謝いたします。ありがとうございました。

「NHKの俳句コンクール」に、5年の 伊藤 綾音さんの作品が入選しました。

ブランコで 近くて遠い せみの声

夏休み中にブランコをこいでいて、感じたことを句にしたそうです。みなさんも心に残ったことなど、一句作ってみてはいかがでしょうか。

「練馬区いじめ防止シンボルマーク」に谷原小学校では全校で取り組み、応募しました。

練馬区全校から集まった作品が審査された結果、4年の 古水戸 早紀さんの作品が入選しました。

これらの取り組みを通して、全校で改めていじめを許してはいけないという気持ちを新たにしました。

表彰
され
まし
た

2月・3月始めの行事予定

－ 2 月 －	16日 (日) ひろば祭り
3日 (月) 委員会	17日 (月) クラブ活動 (発表)
4日 (火) 美化日 避難訓練	3年クラブ見学
5日 (水) 健康の日	19日 (水) 先輩に学ぶ「つまみ絵」
6日 (木) 安全指導	21日 (金) 谷原中吹奏楽部演奏
1・2年生午前授業	25日 (火) 巣立ちの会 (6校時なし)
新1年生保護者説明会	6年保護者会
8日 (土) 学校公開 (給食なし)	26日 (水) 先輩に学ぶ「大鼓」
4校時クラブ活動 (4～6年)	27日 (木) 5年保護者会
1～3年生3時間授業	28日 (金) 6年生を送る会
9日 (日) 都知事選挙 (本校会議室投票所)	3年・4年保護者会
10日 (月) 5時間授業	－ 3 月 －
12日 (水) 午前授業 (給食あり)	3日 (月) クラブ活動 (最終) 安全指導
教育会一斉研究日	4日 (火) 健康の日 1年・2年保護者会
14日 (金) 午前授業 (給食あり)	5日 (水) 避難訓練 地区班会 集団下校
石神井東小学校研究発表	10日 (月) 委員会 (最終) 美化日

給食費の納入をお願いします

給食費の納入は、2月が今年度の最終となります。3月の納入がないため、例月に比べて納入額 (学年によって異なります) が高くなっています。2月5日 (水) までに、ゆうちょ銀行口座へのご入金をお願いします。

校舎がつながりました

教室棟 (現校舎 南棟) と北校舎 (体育館棟 北棟) をつなぐ、渡り廊下の工事が1月末から始まりました。始めに床部分が渡され、固定されました。次は、足場を組んで側面や上部屋根 (透明です) の設置となります。行き来のできる日が楽しみです。



2Fから北棟を見ました



建築中のプールです



東側足場が外れました

6年1組の担任が替わりました

1月より、6年1組担任の渡壁教諭は体調が優れず休暇をいただいておりますが、長期の療養が必要という診断がなされました。そこで、6年1組に新たな先生が着任しました。須佐 一 (すさ いちえ) 先生です。須佐先生は、区内に長く勤務され、子供を理解する力、指導力に優れた先生です。6年生の先生をはじめ、多くの先生達と共に授業や行事、そして卒業に向けて指導を進めていきます。よろしくをお願いします。

教室だより（各学年・専科より）

1年生

1月にはひかり幼稚園・谷原保育園・高野台保育園の三園との交流会が予定されていました。インフルエンザの猛威の中、保育園との交流会は中止になってしまいましたが、ひかり幼稚園とは楽しいひとときを過ごすことができました。ペアを作って学校の中を案内したり、体育館で一緒にゲームをしたりしました。一番のお楽しみのお交流給食は「カレーライス」。1年生より先におかわりに来る強者もいて食缶はあっという間に空になってしまいました。プレゼントにと作ったおもちゃ「ぱっちゃんガエル」も大好評。せっかくなので、お手紙を添えて、来られなかった保育園にも届けました。

そして、今月は「6年生を送る会」の準備が始まります。あと2ヶ月で新しい1年生が入学してくること。その前に大好きな6年生が卒業してしまうこと。様々な行事を通して少しずつ心の準備を始めた1年生です。

2年生

昔遊びを通して

2月のキーワードは、「昔遊び」と「ふれ合い」です。あや取りやおはじき、お手玉等の昔遊びを通して、1年生やデイケアに来られるおじいちゃんやおばあちゃんとふれ合いを深める計画を立てています。

子ども達は、1月のうちからその準備に取りかかっています。「あや取りをお母さんに教えてもらったよ」と、休み時間には競うように見せ合ったり、男女仲良く「二人あや」をしたりする姿が見られました。早くも学級や学年の中で「ふれ合い」が生まれています。

1年生とは、教えることを通して、またおじいちゃんやおばあちゃんとは、教えられることを通して、心温まるふれ合いができたらいなと思います。

3年生

社会科の「昔の暮らし」の学習として、七輪を使う体験をしました。

まずは、スーパーの袋など燃えやすいものは七輪から離れたところに置きます。そして、七輪に紙（段ボール）、細い木（割りばし）、炭、と燃えやすいものから入れます。その上で、風上と風下を確かめて、火を付けて、炭に火が付くまでうちわで風を送ります。炭が赤くなって煙がでなくなってきたら、焼き網をのせます。

ここからが楽しみタイムです。お家から持ってきたおもちゃや干し芋をじっくりと焼きました。遠赤外線パワ―でおいしく焼き上がり、味の違いに子供たちも驚いていました。

家庭の調理熱源は、ガスコンロからIHの時代となりつつあります。苦勞しながら工夫して火を熾す体験は、とても貴重なものになりました。また、一月中旬という寒い中でしたが、七輪の火の子供たちが安全に気をつけながら協力して活動する姿に、身も心もほかほかする時間になりました。

4年生

東京手描友禅体験

社会科の伝統工芸の学習で、東京都工芸染色共同組合の方に来ていただき、東京手描友禅の「友禅挿し」の体験をしました。「友禅挿し」とは、絹の布地に彩色筆で染料を塗る工程です。実際に使っている専門の染料で色を付けていきました。さっと塗る子、こだわりを見せる子など個性豊かで色鮮やかな布地が出来上がりました。

講師の先生の作品を見せていただくとその美しさに、「お〜」と声があがるほどでした。これからも伝統工芸のよさに目をむけていってほしいとの願いを込めて、講師の先生方は、全員分の準備から後処理まで10の工程のうち9つまで行ってくださっているのです。そんな心のこもった作品、出来上がりが楽しみです。



5年生

2月は6年生から本格的にバトンを引き継ぐ時期です。2月末に予定されている6年生を送る会に向けて始動しました。まずは、実行委員が中心となって準備を進めています。実行委員以外の5年生にも少しずつ最高学年への意識が感じられるようになりました。当日は、きっと6年生にとって思い出になる会にしてくれることでしょう。

その反面、各クラス共通の課題が見られるようになりました。「朝登校してきたら提出物を出すということが、いまだにできない」「きちんとした受け答えができないことがある」「時間を意識して行動できないことがある」

以上3点について、学年で共通して指導しました。学校生活で当然できなければならないことですので、今後も学年で連携して子供への指導にあたります。

6年生

寒さが厳しく、風の冷たさが骨身にしみる今日この頃ですが、6年生は相変わらずパワフルに学校生活を送っています。

先月の席書会では「創造する心」と書きました。習字の得意・苦手に関係なく、丁寧に取り組むことができました。一人4枚の作品を書くのですが、できあがった作品を並べて『「創」は1枚目のほうがよいけど、「心」は3枚目の方がいいなあ…どれを提出しよう。』と、悩む姿からも、子供たちの真剣さが伝わってきました。最後の席書会に、気持ちを込めて取り組むことができ、また一步、子供たちの成長につながったことと思います。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」とよく言いますが、新年になってからあっという間に1月が終わりました。卒業まであと40日を切り、いよいよラストパートの期間に入りました。残りわずかな期間を充実したものにし、3クラスとも楽しく卒業できるようにしたいです。

「やさしく撫でられた植物は育ちますか？」

理科 鈴木 雅俊

答えは YES です。植物の成長には、日光、温度、空気、土、水などが必要ですが、「はやくおおきくな〜れ」と声をかけたり、茎や葉を触ったりすることで、植物が育つとは思えません。ところが、菊の栽培には茎を撫でて太くする方法が用いられています。毎日、親指と人差し指で挟んで上下にこする。そうすると、日が経つにつれて茎が太く育つそうです。植物は何かに触れたりすると、植物の体内にエチレンという気体が発生します。このエチレンの作用によって茎が太くなるそうです。やさしく撫でてあげると、子供が健やかに育つのは、エチレンが発生するからではなさそうです。しかし、何か気持ちが良くなる物質が体のなかに発生していることはまちがいありません。